

第68期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



～走りだす夢の先に～ **TOEI ANIMATION**

東映アニメーション株式会社

株主の皆様へ

創立50周年 ～走りだす夢の先に～

株主の皆様におかれましては、まずまずご清栄のこととお喜び申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当社は今年、平成18年7月31日に、創立50周年を迎えます。これも一重に株主の皆様のご支援の賜物であると深く御礼申し上げます。50周年を迎えるにあたり策定したキャッチフレーズ「走りだす夢の先に」は、新たな50年の幕開けとして、輝ける未来(=夢)に向かって走りだしていく、私たちの思いと決意が込められています。

今、当社を取り巻く事業環境は、少子化やアニメ番組視聴率の全体的な低迷等の厳しい状況が続いている一方で、ヤング層の市場が拡大していることや、VOD(ビデオ・オン・デマンド)やモバイルといった新しいメディアが急速に伸びていることに加え、海外での日本のアニメーションに対する評価が依然として高いこと等から市場全体の拡大が期待でき、競争が激しくなっています。

このような事業環境の中、新たな50年への第一歩となる平成18年3月期、当社は過去最高の連結売上高と連結当期純利益を達成することができました。

東映アニメーションの経営理念は「世界の子どもたちと人々に夢と希望を贈る」です。アニメーションを通して、子どもたちは夢を育み、豊かな想像力を身に付けます。良質な映像作品は人々の心を癒し、明日への希望を与えます。その夢と希望をさらに大きく、そして多く贈れるよう、より一層良質な作品作りを目指していきます。

未来に向かって、力強く走りだす新しい東映アニメーションにどうぞご期待ください。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長
TAKAHASHI HIROSHI
高橋 浩

代表取締役会長
TOMARI TSUTOMU
泊 懋



当期の概況

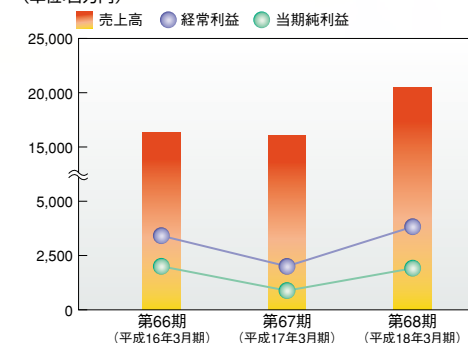
当期、当社は国内で「ふたりはプリキュア」、「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ドラゴンボール」、海外で「ドラゴンボール」、「ワンピース」、「聖闘士星矢」、「金色のガッシュベル!!」を主としたテレビ・映画・DVD・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクター商品等の著作権事業、商品販売・キャラクターショー等の関連事業を戦略的に事業展開しました。

この結果、当期の売上高は204億87百万円(前期比28.0%増)、経常利益は35億42百万円(前期比68.2%増)、当期純利益は20億31百万円(前期比67.4%増)となりました。

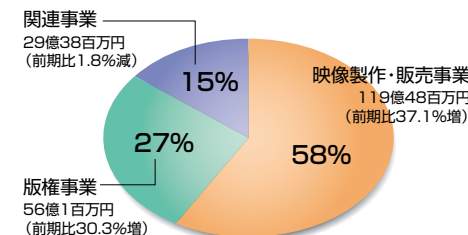
業績の推移

	第66期 (平成16年3月期)	第67期 (平成17年3月期)	第68期 (平成18年3月期)
売上高(百万円)	16,337	16,010	20,487
経常利益(百万円)	3,217	2,105	3,542
当期純利益(百万円)	2,105	1,213	2,031
1株当たり当期純利益(円)	295.08	167.63	284.54
1株当たり利益配当金(円)	30	30	80
資本金(百万円)	2,867	2,867	2,867
総資産(百万円)	23,402	25,484	29,786
純資産(百万円)	19,224	20,717	23,242
1株当たり純資産(円)	2,740.69	2,953.96	3,314.69

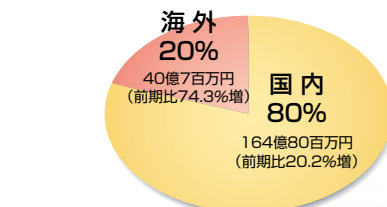
売上高・経常利益・当期純利益の推移 (単位:百万円)



第68期事業セグメント別売上構成比



第68期国内・海外別売上構成比



当期の概況

映像製作・販売事業

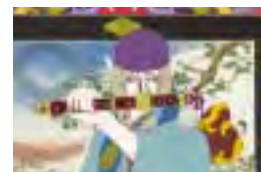
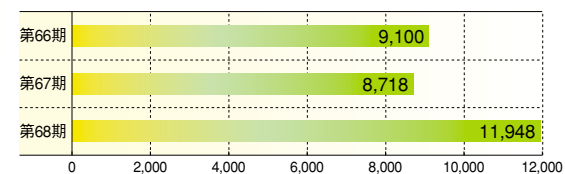
アニメーションを製作し、国内外のTV・劇場・ビデオ・DVD等で放送・公開・販売

劇場アニメ部門では、3月に「ワンピース オマツリ男爵と秘密の島」、4月に「ふたりはプリキュアMaxHeart」、8月に「金色のガッシュベル!! メカバルカンの来襲」、12月に「ふたりはプリキュアMaxHeart2 雪空のともだち」、1月に初の実写映画「最終兵器彼女」の5作品を劇場公開し、前期の3作品に比べ劇場公開作品数が増加したことに加え、当社が幹事会社として公開した「ふたりはプリキュア」の興行成績が好調だったため、大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、新作テレビシリーズとして「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ふたりはプリキュアMaxHeart」(2月から「ふたりはプリキュアSplash☆Star」)や「怪～ayakashi～」等を放送し、前期の「デジタルモンスター ゼヴォリューション」のような大型のテレビスペシャル作品がなかったものの、新作テレビシリーズの放送本数が前期よりも増加したため、増収と

売上高推移

(単位:百万円)



「怪～ayakashi～JAPANESE CLASSIC HORROR」
H18.1.12～H18.3.23 フジテレビ系列



「ワンピース THE MOVIE オマツリ男爵と秘密の島」DVD
H17.7.21発売



「ドラゴンボールZ」単巻DVD
全49巻 H17.11.2～毎月3巻発売



「PRETTY CURE」
イタリア・ドイツ・台湾等



「映画 ふたりはプリキュアMaxHeart2 雪空のともだち」
H17.12.10 劇場公開



「ふたりはプリキュアSplash☆Star」
日) 8:30～ ABC・テレビ朝日系列

なりました。

パッケージソフト部門では、新作で「ワンピース」や「ふたりはプリキュアMaxHeart」、「AIR」、ライブラリー作品で「ドラゴンボールGT」や「スラムダンク」等を展開し、中でも「ドラゴンボールGT」のDVD-BOXや「ドラゴンボールZ」の単巻DVDが好調に推移したため、大幅な増収となりました。

海外部門では、北米での放送ラインナップが6枠に増加したことや、欧州・アジア地域で「ふたりはプリキュア」の海外展開がスタートする等、新作の投入が順調に進んだことに加え、欧州で「ドラゴンボール」と「聖闘士星矢」の大口の取引があったため、大幅な増収となりました。

以上により、当事業の売上高は119億48百万円(前期比37.1%増)となりました。



当期の概況

版權事業

キャラクターの使用許諾を、国内外のライセンシー(メーカー等)に与え、キャラクター商品(玩具・衣類・文具・食品等)を展開

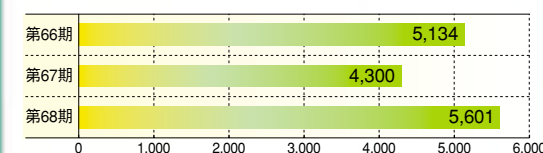
国内では、「ワンピース」と「金色のガッシュベル!!」が減少したものの、「ふたりはプリキュアMaxHeart」が主力商品であるハートフルコミュニケーションを中心に各商品が大ヒットし、また「ドラゴンボール」がテレビゲームやデータカードダスが大ヒットしたため、増収となりました。

海外では、「ドラゴンボール」のテレビゲームが北米での大口の取引に加えて欧州でも好調に稼働し、また「聖闘士星矢」、「金色のガッシュベル!!」、「ワンピース」、「ふたりはプリキュア」が世界各地で展開したため、大幅な増収となりました。

以上により、当事業の売上高は56億1百万円(前期比30.3%増)となりました。

売上高推移

(単位:百万円)



「ふたりはプリキュアMaxHeart」
ミラクルコミュニケーション



「ドラゴンボールZ」
PS2用ソフト
「DRAGONBALL Z Sparking!!」



関連事業

キャラクター商品の販売、キャラクターショー等のイベントの企画・運営、クリエイター養成機関「東映アニメーション研究所」の運営

商品販売部門では、「ふたりはプリキュアMaxHeart」が引き続き好調に稼働しましたが、前期に比べタイアップ等の大口の取引が少なかったため、若干の増収にとどまりました。

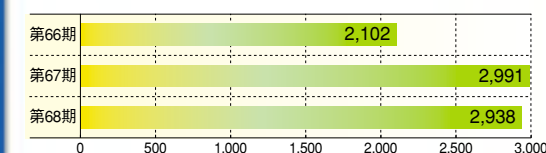
イベント部門では、「ふたりはプリキュア」関連の催事・キャラクターショー等が好調であったものの、前期にありましたアトラクション映像製作の大口の取引が当期は無かったため、若干の減収となりました。

教育部門では、「東映アニメーション研究所」が平成18年4月にリニューアルするにあたって、平成17年度においては一部の学科を除いて生徒を募集しなかったため、生徒数が減り、大幅な減収となりました。

以上により、当事業の売上高は29億38百万円(前期比1.8%減)となりました。

売上高推移

(単位:百万円)



「映画 ふたりはプリキュアMaxHeart2」
前売券購入特典



「ふたりはプリキュアSplash☆Star」
イベント「ドリームワールド」
会場：和歌山マリーナシティ

みなさまに愛されて50周年

これからも愛される作品を世界中へ

新たな飛躍への幕開け

平成18年7月31日に創立50周年を迎える当社の武器は、半世紀にわたり培った企画・製作力、営業力、そして、膨大な作品群です（テレビ160作品、映画180作品、総数約9,100本 平成18年3月時点）。

新たな50年の幕開けとなる今年、「走りだす夢の先に」のキャッチフレーズのもと、この武器をさらに磨くとともに、50周年記念事業として新たな事業に挑戦し、さらなる飛躍を図っていきます。



1956～	1963～	1972～	1981～	1995～	2006～
長編アニメ映画 スタート	テレビアニメーション スタート	キャラクター ビジネススタート	キャラクター ビジネス本格化	アメリカ市場 本格上陸	新たな飛躍

1956年7月創立

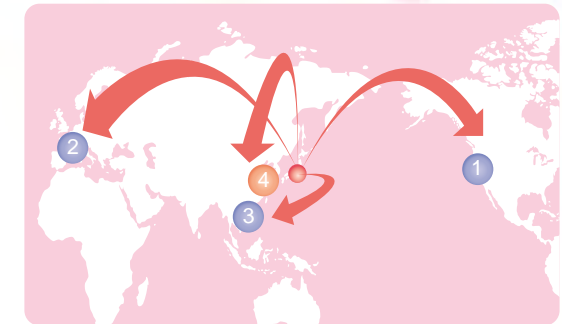
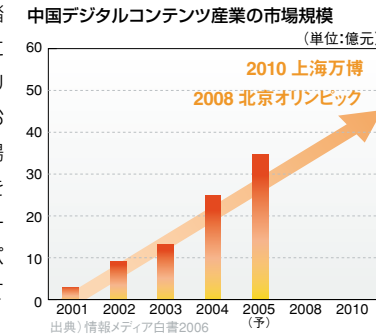
2000年12月
株式上場

2006年50周年

さらなる海外展開の強化

中国・上海市に駐在員事務所を開設

近い将来、飛躍的な伸びが期待できる中国市場において、平成18年6月に「ドラゴンボール」の放送が開始となる等、中国の放送局やメーカー等からの引き合いが活発化してきています。そこで当社は平成18年6月、中国・上海市に情報収集拠点として駐在員事務所を開設し、本格的な中国進出の第1歩を踏み出します。当社では既に香港、ロサンゼルス、パリに現地法人を設立しておりますが、今後も海外市場において、直接ビジネスを推進・強化し、真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して邁進していきます。



- 1 TOEI ANIMATION INCORPORATED
(北中南米地域の営業拠点: アメリカ・ロサンゼルス)
- 2 TOEI ANIMATION EUROPE S.A.S.
(欧州・中近東地域の営業拠点: フランス・パリ)
- 3 TOEI ANIMATION ENTERPRISES LIMITED
(東南アジア地域の営業拠点: 香港)
- 4 TOEI ANIMATION (Shanghai) Representative
(中国の情報収集拠点: 上海)

全世界を視野に入れた海外との合作を強化

海外事業をさらに拡大するために、これまでの日本向けに製作した作品の輸出に加え、世界展開を視野に入れた、海外企業とのコラボレーションによる作品作りに本格的に取り組んでいきます。その第一弾は、日本最大手のアニメーション製作会社である当社と、様々な話題作、人気作品を次々と手がけるアニプレックス、アメリカの大手アニメ専門チャンネルの Cartoon Network・ネットワークによる国境を越えた日米強力3社の初の共同プロジェクトによる「出ましたっ!パワパフガールズZ」です。まず平成18年7月1日から日本で放送を開始し、日本での成功をひたして、全世界に展開していきます。

「出ましたっ!パワパフガールズZ」

全世界160カ国以上で放送されているカートゥーン・ネットワークの人気アニメ「パワパフガールズ」を元に、キャラクターデザイン等を一新、装いも新たにスタート。



東映アニメーション
(日本)

コラボレーション

カートゥーン・
ネットワーク
(アメリカ)

アニプレックス
(日本)

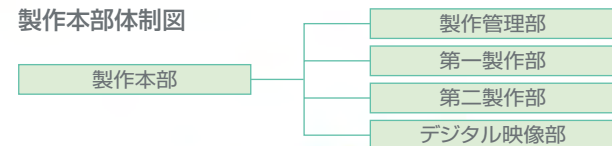
ヤング市場向けのラインナップ強化

ヤング市場向け作品の充実

約200億円ともいわれるアニメーションのマニア市場(*)に、一般層を含めたヤング市場は、非常に巨大な商圏となっています。このような市場環境を受けて、平成17年3月、市場の多様化に柔軟に対応するために「製作本部制」を導入しました。今後は、「第二製作部」を中心にヤング層向けの製作力の強化を図るとともに、ラインナップを充実させ、ヤング市場においても東映アニメーションのブランドを確固たるものにします。

(*)株式会社野村総合研究所 2005年10月6日 レポート

製作本部体制図



平成12年

● テレビ・深夜 1作品

平成16年

● テレビ・深夜 1作品 ● 映画 1作品 ● ビデオ 2作品

平成18年

● テレビ・深夜 4作品



怪～ayakashi～ JAPANESE CLASSIC HORROR



エア・ギア

● 衛星放送 1作品



神様家族

● 映画 1作品



CLANNAD

その他、企画進行中



リングにかけろ1 一日米決戦編



貧乏姉妹物語

次代のアニメーションを牽引する人材の育成

東映アニメーション研究所をリニューアル

人材の育成は重要な経営課題です。11年間にわたり、御茶ノ水にて運営してきた人材育成機関「東映アニメーション研究所」を、平成18年4月、東京都練馬区東大泉に移転し、即戦力かつ将来のアニメ業界を担う人材の育成に、今まで以上に強力に取り組んでいきます。(なお、声優科につきましては、平成19年3月まで、御茶ノ水にて授業を行います。)

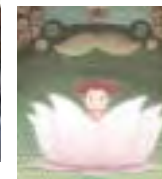
- 少数精鋭による密度の高い授業
- 当社の大泉スタジオの一角
- 講師は現役クリエイター



東映アニメーション研究所(練馬区東大泉)

最前線で活躍する研究所出身のクリエイター

「神様家族」のシリーズディレクターや「リリとカエルと(弟)」の演出・キャラクターデザイン等



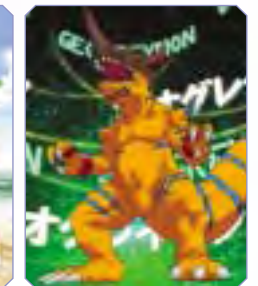
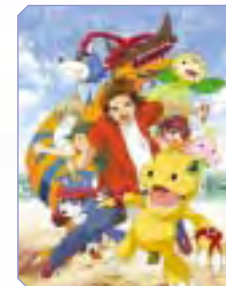
東映アニメNOW

デジモンシリーズ最新作登場!



「デジモン」ついに復活! 新たな冒険が、今、始まります!

平成18年4月より、「デジモン」シリーズ最新作となる「デジモンセイバース」が始まりました。「デジモン」シリーズは平成11年にテレビ放送が始まるとともに、瞬く間に子ども達の間で大人気となりました。テレビシリーズが放送された4年間に劇場作品も8本製作され、テレビシリーズ終了後もスペシャル番組としてフルCG作品「デジタルモンスター ゼヴォリューション」が製作される等、国内での累計版權収入が約27億円となる大ヒットとなっています。シリーズ5作目となる本作では、より魅力的な作品に仕上げ、今子ども達の間でブームとなっているカードゲーム等を中心に商品展開し、再びブームを巻き起こします。



全世界待望の「デジモン」新シリーズ

日本国内で大ヒットを記録した「デジモン」人気は海を越えて全世界に広がりました。「デジモン」が放送された国は60カ国以上を数え、アメリカ等世界各国で今なお放送されて、安定した人気となっています。また、テレビ放送だけでなく、各国で劇場作品も公開され、各地で大ヒットを記録し、過去にアメリカで劇場公開された日本のアニメーション作品の中で、興行収入6位にランキングされる等、海外での累計収入は約94億円を誇り、日本だけでなく全世界で一大ブームを巻き起こしました。全世界待望のシリーズ最新作「デジモンセイバース」は、今まで以上の世界的なブームを巻き起こします。

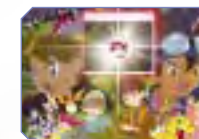
アメリカにおける
日本のアニメーションの
歴代興行
ランキング6位

全世界
60カ国以上で
放送

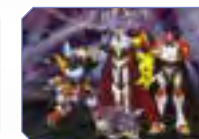
国内版權
累計約27億円
海外合計
累計約94億円



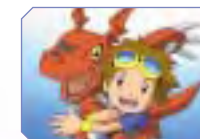
TVアニメ第1作「デジモンアドベンチャー」(平成11年)



劇場作品「デジモンアドベンチャー ぼくらのウォーゲーム!」(平成12年)



フルCG作品「デジタルモンスター ゼヴォリューション」(平成17年)



北米をはじめ、世界中で大ヒット!!

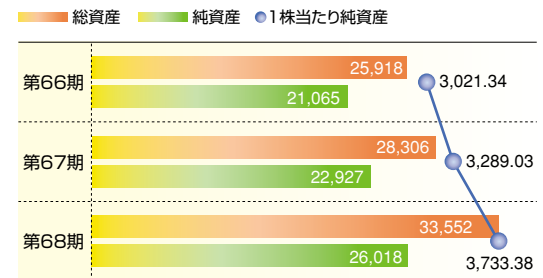
連結財務諸表

Point 総資産・純資産・1株当たり純資産

当期における「総資産」は、335億52百万円（前期比52億45百万円増）となりました。また、「純資産」は当期純利益（24億28百万円）等の増加により260億18百万円（同30億91百万円増）となりました。これに伴い、「1株当たり純資産」は3,733円38銭（同444円35銭増）となりました。

総資産・純資産・1株当たり純資産（単位:百万円）

※1株当たり純資産のみ、単位:円



Point 資産の部

今後も事業を発展・拡大するにあたり必要な、土地・建物の購入や社内情報セキュリティ強化に伴う工事費、関係先とのより強固な関係を築くために取得した有価証券、保有有価証券の時価の上昇、長期性預金への投資等固定資産の増加により、335億52百万円（前期比52億45百万円増）となりました。

貸借対照表（要約）

（単位:百万円）

科 目	当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,514	17,567
固定資産	16,038	10,739
資産合計	33,552	28,306
負債の部		
流動負債	5,480	3,862
固定負債	1,740	1,262
負債合計	7,221	5,125
少数株主持分		
少数株主持分	312	253
資本の部		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	17,569	15,400
其他有価証券評価差額金	2,191	1,363
為替換算調整勘定	△ 15	△ 110
自己株式	△ 3	△ 3
資本合計	26,018	22,927
負債、少数株主持分及び資本合計	33,552	28,306

Point 負債の部

売上高の増加に伴う支払債務の増加や、増益に伴う税金負担の増加により72億21百万円（前期比20億95百万円増）となりました。

連結財務諸表

損益計算書（要約）

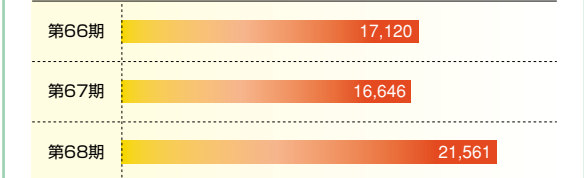
（単位:百万円）

科 目	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売上高	21,561	16,646
売上原価	14,598	11,797
売上総利益	6,962	4,849
販売費及び一般管理費	3,104	2,607
営業利益	3,858	2,242
営業外収益	302	362
営業外費用	3	3
経常利益	4,157	2,601
特別損失	142	54
税金等調整前当期純利益	4,015	2,546
法人税、住民税及び事業税	1,557	946
少数株主利益	29	47
当期純利益	2,428	1,553

Point 売上高

「ふたりはプリキュア」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズを中心に、国内外で各事業が好調に推移した結果、初めて売上高200億円を突破し、会社設立以来最高の215億61百万円を記録しました。

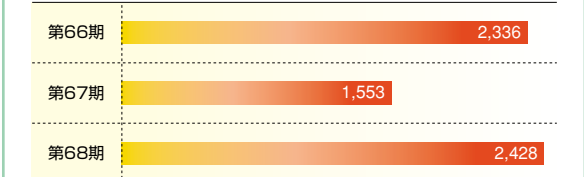
売上高の推移（単位:百万円）



Point 当期純利益

国内外での各事業の好調を受けて、当期純利益も前年対比56.3%増加し、売上高とともに、当期純利益も、会社設立以来最高の24億28百万円を記録しました。

当期純利益の推移（単位:百万円）



連結財務諸表

Point 営業活動によるキャッシュ・フロー

当期における営業活動によるキャッシュ・フローは、36億円の増加（前期は6億28百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が40億15百万円（同25億46百万円）となったことによるものです。

Point 投資活動によるキャッシュ・フロー

当期における投資活動による資金の減少は37億20百万円（前期は3億50百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の取得、長期性預金への投資、土地・建物の購入等によるものです。

キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位:百万円）

科 目	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,600	628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,720	△ 350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 209	△ 210
現金及び現金同等物に係る換算差額	133	△ 25
現金及び現金同等物の増減額	△ 195	41
現金及び現金同等物の期首残高	12,461	12,420
現金及び現金同等物の期末残高	12,266	12,461

剰余金計算書（要約）

（単位:百万円）

科 目	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	3,409	3,409
資本剰余金期末残高	3,409	3,409
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	15,400	14,105
利益剰余金増加高	2,428	1,553
利益剰余金減少高	258	258
利益剰余金期末残高	17,569	15,400

単体財務諸表

貸借対照表（要約）

（単位:百万円）

科 目	当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,655	16,334
固定資産	14,131	9,149
資産合計	29,786	25,484
負債の部		
流動負債	5,027	3,694
固定負債	1,516	1,071
負債合計	6,544	4,766
資本の部		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	15,064	13,282
その他有価証券評価差額金	1,901	1,157
自己株式	△ 0	△ 0
資本合計	23,242	20,717
負債・資本合計	29,786	25,484

利益処分

（単位:円）

科 目	当期	前期
当期末処分利益	11,770,186,046	10,288,358,468
利益配当金	559,995,840	209,998,440
役員賞与金	40,000,000	40,000,000
（うち監査役賞与金）	(2,600,000)	(2,600,000)
別途積立金	300,000,000	300,000,000
合計	899,995,840	549,998,440
次期繰越利益	10,870,190,206	9,738,360,028

（注）配当金は、自己株式52株分を除いて計算しております。

損益計算書（要約）

（単位:百万円）

科 目	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売上高	20,487	16,010
売上原価	14,528	11,776
売上総利益	5,958	4,233
販売費及び一般管理費	2,547	2,218
営業利益	3,411	2,015
営業外収益	134	91
営業外費用	3	1
経常利益	3,542	2,105
特別損失	141	54
税引前当期純利益	3,401	2,050
法人税、住民税及び事業税	1,369	837
当期純利益	2,031	1,213
前期繰越利益	9,738	9,074
当期末処分利益	11,770	10,288

Point 1株当たり利益配当金

創立50周年記念と、連結売上高、連結当期純利益が過去最高を記録したことを受け、株主の皆様のご支援にお応えするため、1株につき50円増配し、80円を配当いたします。

1株当たり利益配当金の推移

（単位:円）

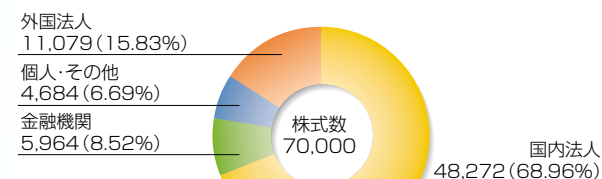
第66期	30
第67期	30
第68期	80

株式の状況／会社概要

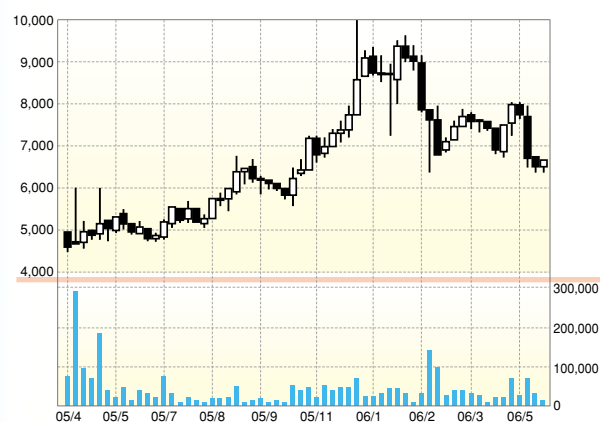
株式の状況 (平成18年3月31日現在)

発行済株式総数	7,000,000株
株主数	1,770名

所有者別株式分布状況(単位:百株) (平成18年3月31日現在)



株価・出来高の推移



著作権表示

©2005映画ふたりはプリキュアM2 製作委員会・ABC・怪〜ayakashi〜製作委員会・尾田栄一郎・集英社・フジテレビ・バードスタジオ・BANDAI 2003・ダイナミック企画・水木杏子・いがらしゆみこ・武内直子・P.N.P.・テレビ朝日・本郷あきよし・2006 Cartoon Network, Aniplex & TV Tokyo・大暮維人・講談社・マーベラスエンターテイメント・エイベックス・エンタテインメント・森島由一・メディアファクトリー・神様家族プロジェクト・車田正美・かずといすみ・小学館・貧乏姉妹物語プロジェクト・VisualArt's・Key・フロンティアワークス・アニマックス・デジモンCGプロジェクト・東映アニメーション

会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文名称	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒178-8567 東京都練馬区東大泉二丁目10番5号 TEL 03-3978-3111 (代表)
新宿オフィス	〒162-0831 東京都新宿区横寺町58番地
東映アニメーション研究所	〒178-0063 東京都練馬区東大泉二丁目11番32号
従業員数	271名
上場市場	JASDAQ (コード:4816)
ホームページ	http://www.toei-anim.co.jp

株式事務のご案内

商号	東映アニメーション株式会社
証券コード	4816
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
利益配当金	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告 http://www.toei-anim.co.jp

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株主優待オリジナル「キャラクターQOカード」を進呈

- 絵柄は、子ども達に人気の新作アニメーション2種類、なつかしの名作アニメーション2種類(各500円)を1セットで進呈いたします。
- 新作アニメーションにつきましては、株主優待限定の描き下ろしのデザインとなっています。

2006年進呈



ふたりはプリキュア
Splash☆Star



デジモンセイバース

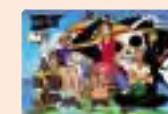


わんわん忠臣蔵



ガリバーの
宇宙旅行

2005年進呈



ワンピース



ふたりはプリキュアMaxHeart



わんぱく王子の
大蛇退治



アラビアンナイト
シンドバッドの冒険

2004年進呈



ふたりは
プリキュア



少年猿飛佐助

最新の情報は当社IRページで

当社では適時情報開示を目的としてIRページを開設しております。決算説明会の映像や詳細な定量データ等、日々情報の充実に務めております。また、IR情報およびプレスリリースのメール配信の登録／削除を受け付けております。

<http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir/>



第68期 事業報告書



第68期 事業報告書

東映アニメーション NOW ON AIR



「ガイキング」
日) 6:30～ テレビ朝日



「ふたりはプリキュアSplash☆Star」
日) 8:30～ ABC・テレビ朝日系列



「デジモンセイバース」
日) 9:00～ フジテレビ系列



「ワンピース」
日) 19:00～ フジテレビ系列



「エア・ギア」
火) 25:00～ テレビ東京系列



「神様家族」
木) 22:30～ アニマックス



「貧乏姉妹物語」
木) 26:40～
テレビ朝日 (6/29～)



「出ましたっ!パワパフガールズZ」
土) 7:00～
テレビ東京系列 (7/1～)

